

琉球列島・小笠原諸島のサンゴ分布図

●サンゴ分布図とは

琉球列島、小笠原諸島のサンゴの分布状況を示した図です。

サンゴ分布調査の成果のとりまとめとして、対象海域を以下の「大隅諸島・トカラ列島」、「奄美群島」、「久米島・宮古諸島・八重山諸島」、「小笠原諸島」の4つに分けて、サンゴ被度区分別の分布と面積を示しました。

●サンゴ被度とは

サンゴ被度とは、サンゴが着生可能な海底面(泥地や砂地などを除く)に占める生きたサンゴの割合(被覆率:%)のことです。生きたサンゴの合計面積が海底面の1割を占めれば被度は10%、半分なら50%となります。本分布図では、被度5%未満、5-50%未満、50-100%の3区分で表現しています。

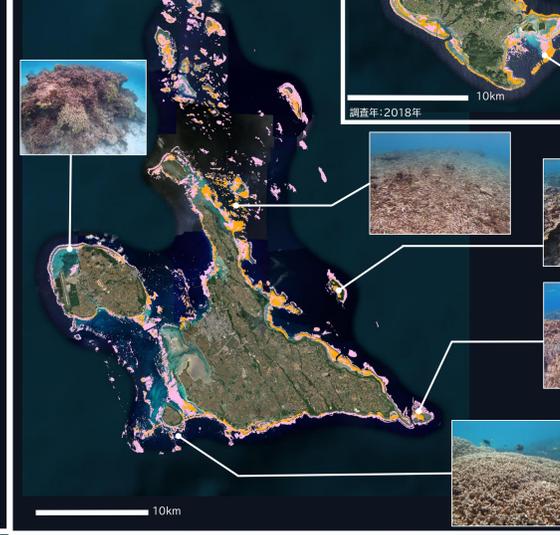
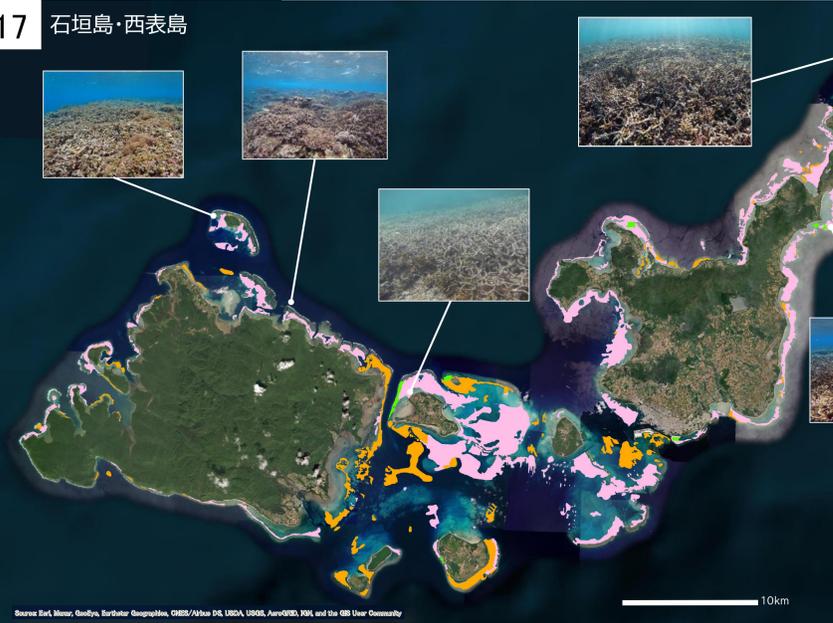
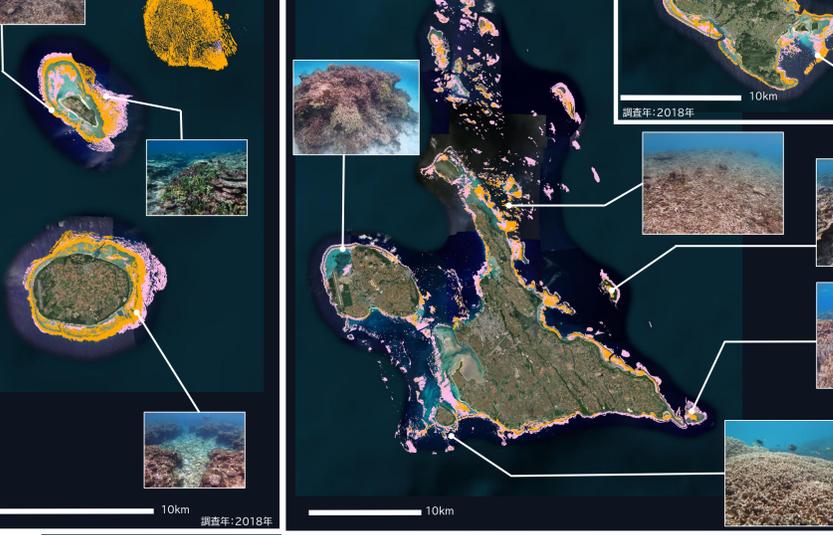
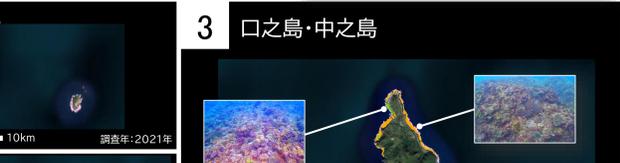
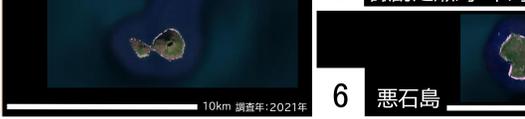
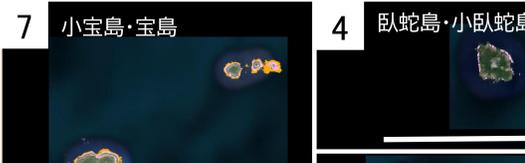
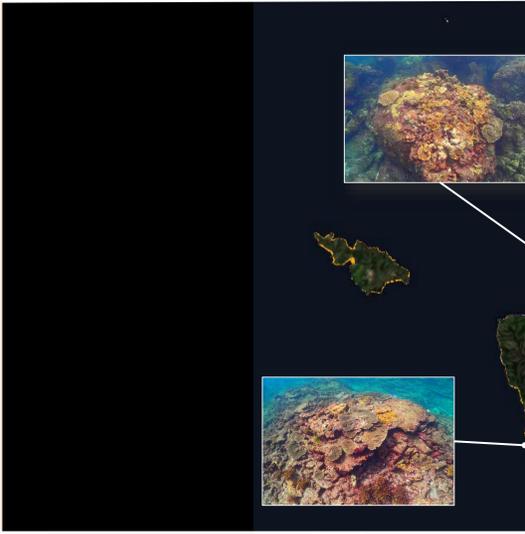
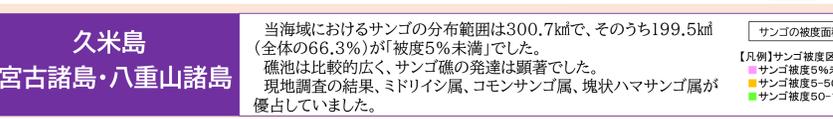
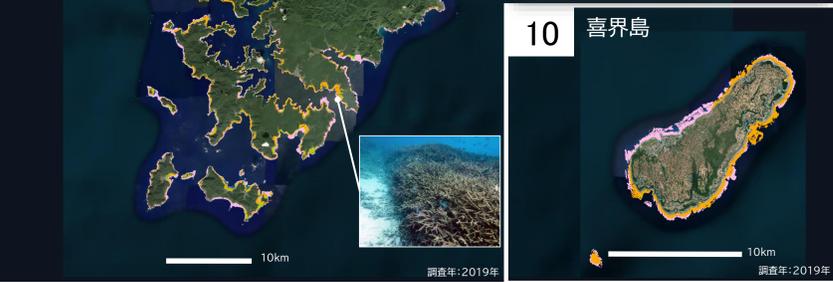
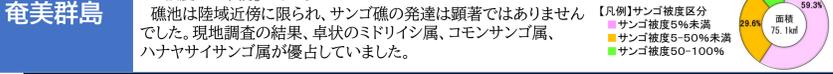
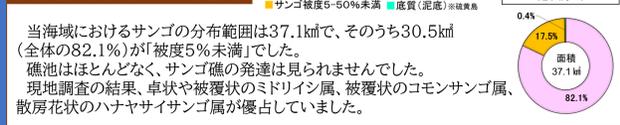
サンゴ被度区分

被度区分	色	特徴
5%未満	赤	低被度分布 (極めて不良)
5-50%未満	黄	中被度分布 (不良～やや良)
50-100%	緑	高被度分布 (良～優良)

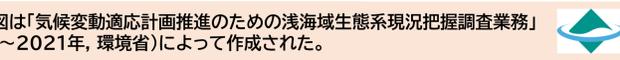
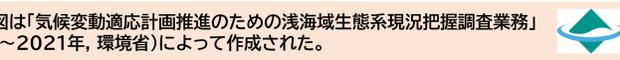
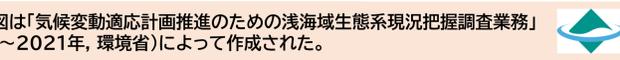
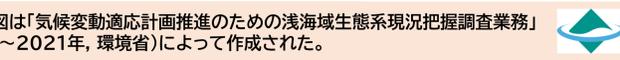
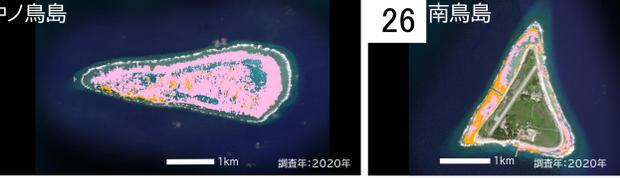
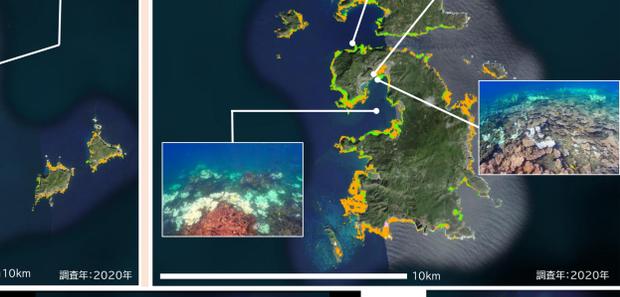
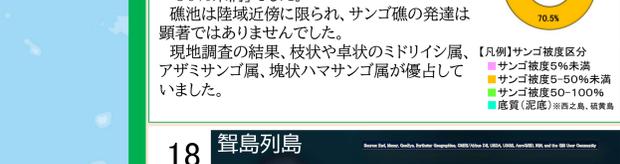
●分布図に関する留意事項

本サンゴ分布図は、衛星画像(2016年夏季以降撮影)を主として、現地調査(2017~2021年度)のデータを用いて補完して作成しています。そのため、最新の状況とは異なる場合があります。

大隅諸島・トカラ列島



小笠原諸島



本分布図は「気候変動適応計画推進のための浅海域生態系現況把握調査業務」(2017~2021年, 環境省)によって作成された。